

## アジアにおける輸出管理の現状と課題

経済産業省安全保障貿易管理課長 赤津光一郎

### 1. 問題の所在

- アジアのほとんどの国は、
  - 輸出管理制度が未整備
  - 表面上制度整備が行われていても、実効性を伴っているか疑問
  
- 4つのカテゴリー
  - カテゴリー1 実効性のある輸出管理が行われている国
    - 韓国、シンガポール、香港
  - カテゴリー2 制度は整っているが実効性に疑問のある国
    - 中国、インド、台湾 等
  - カテゴリー3 制度を整備しつつある国
    - パキスタン、タイ
  - カテゴリー4 制度整備に未着手の国
  
- 懸念国による調達活動の拠点として利用されるおそれ。
  - 迂回輸出（明伸事件）
  - 工業力向上により機微な貨物が製造可能となっている（核の闇市場）
  
- このような現状は
  - 大量破壊兵器拡散の大きなリスク要因
  - 先進国による輸出管理に大きな負担、その実効性を阻害
  
- 輸出管理の必要は認識されつつある
  - 国連安保理決議 1540
  - APEC

### 2. 国別の状況

- 韓国
- シンガポール、香港
- 中国
- インド
- タイ
- マレーシア

### 3. 実効ある輸出管理の阻害要因と対策

- 政策課題として高いプライオリティを与えられていない      ハイレベルでのコミットメント
- 実務能力の不足      各種の技術支援

### 4. 日本の役割と課題

- アジア諸国への輸出管理協力で主導的な役割
- 外交、安全保障政策とのより密接なリンケージが必要